

全記入を主審が行ってください！
AR・4thの氏名の確認を試合開始前に！！

審判報告書

正式名称

大会名 平成28年度 第45回埼玉県サッカー少年団大会 東部地区南ブロック予選

試合時間 40 (前後半合わせた試合時間を記入)分 延長戦 _____分

試合 A (組合せの左または上のチーム) 対 B (組合せの右または下のチーム)

結果 合計：得点 (前：半) (後：半) 延(____：____)(____：____)

日時 200×年__月__日__時__分キックオフ PK (____：____)

場所 草加市営瀬崎グランド

主審 審判 太郎 所属 埼玉県 副審1 千葉 次郎 氏 所属 埼玉県

第4の審判 亜久亜 海 氏 所属 // 副審2 木更津 勝 氏 所属 埼玉県

該当しない欄は横棒で消す

開始予定時間ではなく、実際の開始時間を記入

競技場、用具の状態

競技場 土ぬかるみ一雨天水溜りが少しあり。

用具 ネットに穴が開いていたので補修後に試合を行った。

必ずフルネームで 付けるほうが望ましい。

1級は日本、2級は関東 3・4級は埼玉県です

警告 競技場(芝・土等)・用具の状況・処置を記入。すべて良い状態ならば「良好」と記入

時間	チーム	番号	氏名	理由{()内に反ラ異繰遅距入去を記入し、具体的事由を記入する。}
1 25	CX	10	羅普布零選手	(ラ) 相手のドリブル突破に対して無謀にチャージし相手を倒した
2 40+1	CX	5	愛手塚夢選手	(反) 相手競技者の腕を露骨に引っ張り、前進を妨げた
3				() などの具体的内容を書く
4				()
5				()
6				()
7				()
8				

開始からの通算時間

必ずフルネームで

選手は付けること

*空白部分は×締めなどで表記

「競技規則」「ガイドライン」第12条を参照し正しい用語を使って記入を!

((例) 異議なのか(警告)・暴言なのか(退場)で懲戒罰が違うので注意!!!)

退場 (詳細は重要事項報告書に記入して提出する。但し警告2についてはこの報告のみでよい。)

時間	チーム	番号	氏名	理由(不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2)
1 39	〇〇	4	半戸素嗣選手	(阻止(手)) 相手のシュートを手でとめて決定的な得点を阻止した。
2				
3				

記入の仕方は警告と同じ、但し一発退場があった場合は別途、重要事項報告書を作成すること

その他の報告事項

問題なき場合は「特になし」と記入。その他は具体的に記入する。

(主審の権限が及ばない時間帯での事象で競技者やチーム役員の言動が懲戒罰に値する場合、チームのユニホーム等に問題があった場合、キックオフが1分以上遅れ事由、副審・運営面に問題があった場合、など)

以上の通り報告いたします。

日付は西暦で記入

201×年__月__日

確認のため日中に連絡のつく電話を記入ください

試合を主催した協会の会長宛に報告する

主審住所 主審住所を記入

電話・携帯*090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 等

署名 審判 太郎

自筆で記入

公益社団法人 埼玉県サッカー協会 会長殿

大会名、試合時間、対戦、日時については審判報告書と同じように記入のこと

審判報告書 (重要事項)

●大会名 第〇×回 少年サッカー選手権大会 〇回戦 又は 〇日目
試合時間 40 分 延長戦 _____ 分
試合 A 〇〇 対 B C X
日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (____) _____ 時 _____ 分キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細

審判報告書と同じ実際の開始時間を記入

39分 〇〇チームの半戸素嗣選手(背番号4)は、C Xチームの背番号10 天尾突太選手が、ペナルティーエリア付近でG Kをかわし、シュートしたボールを手で止めて決定的な得点を阻止したことにより、半戸選手を退場処分とした。

何分に誰が誰に対してどういう状況でどのような行為をしたかを詳しく書いてください

*一発退場以外で重要事項に記入する必要がある事項

- ①競技者、交代要員以外のチーム役員に懲戒罰に相当する行為があった場合 (フルネーム記入)
- ②主審が懲戒の罰則を通用することのできない時間帯に懲戒罰に相当する行為があった場合
- ③副審や第4の審判員に問題があった場合
- ④その他 (規則第5条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合)

《審判報告書:警告事例:参考》

「どういう状況で」、「誰に」、「どうしたか」

- ・(反):相手競技者の腕を後方より露骨に引っ張り前進を妨げた。
- ・(反):ボールを手で扱い利益を得ようとした。
- ・(ラ):相手のドリブル突破に対して無謀にチャージし相手を倒した。
- ・(異):主審の判定に対して、ボールを地面にたたきつけて異議を示した。
- ・(距):相手のFK再開の直前に10ヤードの壁から飛び出しキックを妨害した。
- ・(遅):相手のスローインのボールを相手に渡さず持ち去った。
- ・(遅):ゴールキックの際ボールを何度も置きなおい意図的に再開を遅らせた。

理由を誤って記入

下記のように理由(青字)の誤りや具体的事由の記入不足で理由が変わってくるので赤字のように具体的に書く事が望ましい。

- (距)相手のFKによる再開をボールの前に立って **再開を遅らせた……(遅)**
- (反)相手フリーキック(スローイン)の判定の後ボールを相手に渡さなかった。**渡さず再開を遅らせた……(遅)**
- (反)相手フリーキック(スローイン)の判定の後ボールを蹴った**……再開を遅らせた(遅) 判定に不服な態度を示した(異)**
- (反)相手FKのボールを投げた。**遠方へ投げた再開を遅らせた……(遅) 強く地面になげ判定に不服な態度を示した……(異)**

以上のとおり報告いたします。

201× 年 _____ 月 _____ 日

署 名 _____ 審判 太朗

公益社団法人埼玉 県サッカー協会会長 殿